

歴史講演会

磐田市は古代に遠江国府・遠江国分寺が置かれ、静岡県西部の政治経済の中心でした。

戦国時代には今川氏・徳川氏・武田氏による争奪戦の舞台となり、城之崎城・中泉御殿・社山城などの城砦や、一言坂・提灯野といった合戦跡とともに戦いのエピソードが市内には残されています。

また、「伝酒井の太鼓」は徳川四天王の

若き日の家康と磐田

遠府にて甲州武田軍を迎え撃つ

一人酒井左衛門尉忠次が三方ヶ原の戦いの際に打ち鳴らし、武田軍の追撃を防いだと伝わる太鼓で、その後見付学校に据えられ、時を告げる太鼓として使われてきました。

大河ドラマの放映を機に、こうした徳川家康ゆかりの歴史遺産を紹介し、学びの場を提供するとともに、郷土への誇りにつなげるため、有識者等による講演・パネルディスカッションを開催します。

とき **10月9日** [月・祝]
13時00分から

ところ 磐田市民文化会館
「かたりあ」ホール

講師紹介



平山 優 氏
健康科学大学特任教授、
大河ドラマ時代考証



加藤 理文 氏
磐田市文化財保護審議会委員、
日本城郭協合理事

定員 / 1,000人(定員を上回る場合は抽選)

参加費 / 無料

申込方法 / ① 往復はがき
② Web (ロゴフォーム) 申込
のいずれかでお申込みください。
※両方での申し込みはご遠慮ください。

詳しくは裏面をご覧ください